

選評 短歌の部の部

選者 伊藤一彦先生

安井息軒先生やお佐代さんや梅の花をしのぶ歌が寄せられました。先人をしのび、花をめぐる心は美しい歌を生みます。

特選

散り敷くも舞い飛ぶ花も米つぶの

小さき実もあり同じ木の梅

咲いている花も散っていく花もそのあとに成る実もすべて「同じ木」の梅と強調しているところが心に残りました。この当たり前をかみしめたい気持ちになります。

金賞

旧宅の小高き丘から息軒の

三計の風世に吹きわたる

息軒先生の旧宅から吹く風を「三計の風世に吹きわたる」と歌ったのがうまいし、心に残りました。

銀賞や銅賞の歌もそれぞれによかったです。